

会議録

会 議 名	平成 27年度 石浜西児童館運営委員会
開 催 日 時	平成 28年 1 月 15 日 (金)
開 催 場 所	総合子育て支援センター・交流サロン室
出 席 者	石浜区長・県営住宅自治会長・東浦中学校校長・石浜西小学校校長・主任児童委員・ボランティア代表・交通指導委員 事務局・・・児童課長・指導保育士・課長補佐兼保育係長・児童課主事・子育て支援センター長・石浜西児童館館長
議 題	児童館運営について
非公開の理由	
概 要	1 挨拶 (事務局) ・子育て支援法の制定をうけ児童クラブが大幅に変更となる。東浦町の児童館の現状から、3年生までであったところを4年生にし、時間もニーズに合わせて延長し、それに伴いクラブ費の見直しも行った。今後国の方針である6年生まで加入させるにあたって、児童館でのクラブ運営が本当にできるのか等、率直なご意見をいただきたい。 (2) 石浜区長 ・コミュニティまつりの協賛など、児童館と地区との繋がりはある。石浜地区は唯一小学校が地区に2つある。東と西の交流が一緒にできていくと良いと考えている。 2 出席者自己紹介と挨拶 (1) 県営住宅自治会長 ・前回の運営委員会でも言われているがなかなか当施設に足を運べていないのが現状である。 ・日々団地の中で子どもたちの姿を見ているが、児童館において手伝い等できればと思っている。 (2) 東浦中学校校長 ・中学生がお世話になっている。 ・地域で育つ中で迷惑をかける部分もあるかと思う。 (3) 石浜西小学校校長 ・児童館とは情報交換を常に行い、子どもの様子、変化に常に気を付けるようにしている。 (4) 主任児童委員 ・赤ちゃん訪問等で、地区に慣れることはできた。児童館との関

	わりはあまり持っていない。 (5)交通指導員 ・帰り道で児童クラブの子と触れ合う事が多い。昨年度に比べ人数も増えたが、1年生はわりとよく話を聞いている。 (6)ボランティア代表 ・折り紙を行うなかで子どもと遊んでいる。 (7)支援センター所長 ・二つの施設が併設しているため、助け合っている。 ・支援センターと一緒にいる中で、活気のある児童館となっている。 (8)指導保育士 ・東浦町は子育て支援に力をいれているが、地域と子どもたちをつなげる児童館の今後の働きについて考えていきたいので、率直なご意見をお願いします。 3 平成 27 年度児童館活動内容について 児童館現状報告(資料により館長説明) ・児童クラブ、一般児童利用者について ・子育て支援事業、ボランティアについて 4 意見交換 ・クラブ費があがることについて、4月からは6千円、8月のみ1万円となる。(児童課長) ・東浦町は他市町より子育て支援が進んでいる。働く親にとっては児童館児童クラブの存在は不可欠である。こどもがあきない工夫を今でもしていると思うが、さらなる工夫が必要であると思う。(区長) ・児童クラブの時間を延ばすに当たり、保育士不足であるため、保育園は保育士免許が必要ですが児童館は一般の人でも(無資格者でも)やる気があればできるので、周りの人に周知していただくと助かります。人員が今後の問題です。(課長) ・児童クラブを小学校に移す予定はその後どうなっている？小学校の空き教室は今後の児童増加を見ると3年程しか貸す事ができない。6年生までになった時アフターとの連携が今後課題となっている。(小学校長) ・児童クラブの移行は現在も検討中で、今後話し合いの結果次第となると思う。児童館から児童クラブが抜けた後の児童館の
--	---

	活用法についても考えている。大人が使用でき、子どもの遊びを見守り、コミュニティにも使いやすい児童館となるようにと思っている。南ヶ丘ができ、石浜西保育園も H28年度はいっぱいであるため、空き教室は難しいと思う。地域から児童館へ出てきてもらえるよう新規事業として「ブックスタート」を始める。6ヵ月と1歳6ヵ月検診時に児童館の話をし、利用を促し孤立家庭をなくしていく取り組みをする。地域にいる親子を外へ連れ出すのを目的とする。(課長) ・街づくり実行委員を作って、石浜地区を知ってもらおう取り組みに若い世帯が4組ほど参加してくれた。「孤立家庭をなくす」「地域を知らないなので地域を紹介する」をテーマとしてとりあげていく必要がある(区長) ・中学生利用が多いと聞いたが、乱暴な遊びが怖いといってくる利用者はいないのか(指導員) ・中学生にも様々な子がおり、確かに乱暴だったり威圧的だったりして、1年生の中には怖いという子もいる。厚生員が、間に入り、怖くはない事をつたえ、中学生には丁寧に接するよう話を繰り返ししている。特に4月当初は保護者の中にも不信感をもつ人がいるため、丁寧に職員が対応している。(館長) ・中学生の利用は手放しでは喜べない。大きい子に小さい子がついて行く、また、遊びについても悪影響を与えている場合がある。中学生のうちはまだいいが、20歳を超えたあとも同じように遊んでいる子がいるため、そういう子の大人になった後のフォローまで考えて行く必要があるので、児童館でただ遊べばよいわけではない。(自治会長) ・児童館外で連れまわしているという話は石浜西ではあまりないが石浜地区であったことを報告を受けている。個々の居場所としての児童館という場所の提供は必要な子もいると思う(課長) ・新しく県営住宅が建っているが、一気に150人は増えた。54世帯のうち14件が外国籍である。外国籍の人はリーマンショック時より170～180件増えている。外国籍であるため派遣で働き仕事の有無がすぐ変わりまた高齢者が増え車いすで生活をする世帯も2件ある(バリアフリー住宅)派遣切りがあるため参観日が休めなかったりしていたが、一時に比べて落ち着いてきている。(自治会長)
備 考	